

令和五年度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔一般〕

〔国語総合〕

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。  
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。  
国語の問題は全部で三十七問あります。解答用紙の問一から問三十七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号





一 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つたものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① とりかへばや物語 ② 風姿花伝 ③ 山家集 ④ 今昔物語集

問二 次の書き出しで始まる作品の作者を選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間をばはかる遠慮というよりも、そのほうが私にとって自然だからである。

- ① 芥川龍之介 ② 森 鷗外 ③ 太宰 治 ④ 夏目漱石

問三 次のうち、敬語の使い方が誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① 先ほど電話をくださったのは、あなたのお父様ですか。  
② お客さま、疑問のところは担当者におうかがいください。  
③ 昨日はどなたがお越しになったのか、あなたはご存じですか。  
④ 佐々木さんは、ご夫婦でよく旅行にいらっしゃるみたいですね。

問四 「晴耕雨読」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 波瀾万丈 ② 五里霧中 ③ 喜怒哀楽 ④ 竜頭蛇尾

問五 次の傍線部の語句と同じ品詞が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は⑤。  
あの絵はあまり美しくないと思います。

- ① この赤ん坊はあまりミルクを飲まないので困る。  
② せっかくの休日だったのにつまらない映画を見ってしまった。  
③ あの学校に入るのは難しくないといううわさだ。  
④ 玄関の前には車を停めないでください。

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。 解答番号は ⑥ (22)。

自分のことは棚に上げて他者を批判する人はいつの時代も多いです。アドラーがこんなことをいつています。

「憎しみの感情はいつも直線的でも明らかになるわけでもなく、時としてヴェールで覆われているということ、それは例えば批判的態度という、よりセンレンされた形を取りうるということを忘れてはならない」(『性格の心理学』)

批判がアドラーのいうように「よりセンレンされた形」で行われているかは疑問ですが、コンデイに憎しみの感情があるというシテキは重要です。アドラーは憎しみについて、次のようにいつています。

「憎しみの感情は、怒りの爆発において、非常に高い程度に達することがある」

憎しみも怒りも「人と人を引き離す感情」だとアドラーはいつます。問題を解決するためには関係が近くなければなりません、人を憎んだり、批判したり、さらには怒ることでは関係が遠くなってしまい、結局は問題を解決することはできません。

部下や子どもを叱りつづけている人は、怒りの感情を使えば、問題をたちまち解決できると考えています。しかし、実際には、また同じことが繰り返されます。感情的に叱りつけられると、怖いので行動を改める人がいます。しかし、その方法が即効性があつても有効でないのは、また同じことが繰り返されるということからわかります。もしも叱ることが教育的に有効であるならば、一度叱れば二度と同じことが繰り返されるはずはありません。

(ア)、問題を解決するためには、従前の方法を改めることから始めなければなりません。即効性を求めず、たとえどれほど手間ヒマがかかつても、A にならないで、言葉を使つて B に地道に問題を解決していくことが必要なのです。

政治の場面では、憎しみや怒りを梃子にしたり、あるいは大義名分の正義を持ち出したり愛国心をキョウセイしたりして戦争するのではなく、時間はかかつても即効性を求めず外交によつて問題を解決していくことが大切だということが常識になるためには、日常生活でも、問題を解決する時に感情的にならず、言葉を使わなければなりません。

戦争に反対していても、家庭や職場で部下を叱りつづけているようでは駄目なのです。まず、日常生活の対人関係で怒りを使わずに言葉を使つて問題を解決できるという経験をすれば、政治の場面でも言葉が有用であることがわかります。

憎しみのヴェールに覆われた「批判的態度」と「批判」は違ひます。考えの違う人と共生していかなければなりません、異なった考えを持った人たちが C ない批判をすることまでサマタげません。

憎しみを交えない批判をするためにはどうすればいいか。批判を「人」に向けてはいけません。「誰」がいつているかではなく、「何」が語られているかに注目し、発言内容そのものについて間違っているのであれば、それを正すことは必要です。人を批判するのではありません、憎しみの感情がカイザイする余地はなくなります。

私がキグするのは、こちらがどれほど冷静に相手の誤りをシテキして批判しても、相手が理性的でなければこちらの主張が理解されないのではないかということです。

(イ)、今していることが自分のためにならないことがわかれば、行動を改めようとするかもしれませんが、不正を犯している人は、**不正こそ善**、つまり**得になることだと考えている**のです。不正を犯した時そのことを認めなくても何とかやり過ぎせることを学んでしまった政治家は、**どれほど真実を語れといわれても頑として拒む**でしょう。嘘をつき通すことが得だと判断しているからです。

しかし、そうすることが人々のシジを失うことになることがわかれば、態度を改めるでしょう。不正でも、また国民を戦争へとかり立てる偽りの正義でもなく、真の正義こそが善であると知ることが最終目標です。

政治家でなくても、正義と善が一致するということが、正義に従って生きることが本当に得になるということがわかれば、人は偽りではなく、真の正義に従って生きるでしょう。

この世界では完全な正義はこれまでも実現されていませんし、これからも実現されないかもしれませんが、正義が何なのかはすぐに答えが出なくとも、問い続けなければなりません。

(岸見一郎「これからの哲学入門」より)

\*アドラー(一八七〇～一九三七) オーストリアの精神病学者、心理学者

問一 傍線部a～jと同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は

(6) a センレン (6) ① 休日はセンタクで忙しい。 ② 市会議員にサイセンされた。

(15) b コンテイ (7) ③ 原子力センスイ艦 ④ 大気オセンが問題になる。

c シテキ (8) ③ ツウコンの出来事だった。 ④ 将来にカコンを残した。

d ヒマ (9) ① テキカクな判断を下す。 ② 汚職がテキハツされる。

e キョウセイ (10) ③ 床にスイテキが溜まった。 ④ カイテキな生活を楽しむ。

f サマタげ (11) ① スンカを惜しんで勉強する。 ② カフクはあざなえる縄のごとし。

g カイザイ (12) ③ 大型機械をカドウさせる。 ④ 事件のカチュウの人物。

h キグする (13) ① 宗教のフキョウ活動。 ② 大変キョウシュクしております。

- ① 弱点をホキョウする。
- ② 予想外のハンキョウがあった。
- ③ ムボウな運転を戒める。
- ④ あぶない進路ボウガイ。
- ④ ボウサイ訓練。
- ② 大量の仕事でボウサツされた。
- ③ 病人をカイホウする。
- ④ 病気がカイホウに向かう。
- ③ 会場のケイカイは嚴重だ。
- ④ 輸入がカイキンされた。
- ① 土地のキフクが激しい。
- ② キキ一髪の瞬間。
- ③ 永遠の平和をキキュウする。
- ④ やつと職場にフツキできた。

- i シジ (14) ① 日本ドクジの文化。 ② ケイジ物を撤去した。
- j カ (15) ① シヤツキンを返済した。 ④ 筆記具をジサンしてください。
- ② 四輪クドウの自動車。
- ③ 古代のシユリョウ生活。 ④ エイコ盛衰の世の中。

問一 空欄ア・イにあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は(16)・(17)。

- ア (16) ① つまり ② そこで ③ それに ④ ただし
- イ (17) ① または ② それで ③ しかも ④ しかし

問三 空欄A・B・Cにあてはまることばとして最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は(18)・(19)・(20)。

- A (18) ① 絶望的 ② 消極的 ③ 感情的 ④ 批判的
- B (19) ① 理性的 ② 直線的 ③ 積極的 ④ 教育的
- C (20) ① 圧倒的 ② 内省的 ③ 友好的 ④ 建設的

問四 二重傍線部「大義名分」の意味として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(21)。

- ① 重大な行動を起こす際の明確な根拠 ② 誰にも反論を許さない強い意思
- ③ 身分に応じて必ず守るべき責任 ④ 立場上相手に報いる必要のある義理

問五 傍線部1「戦争に反対していても、家庭や職場で部下を叱りつけているようでは駄目なのです」とあるが、その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(22)。

- ① 家庭や職場で怒りにまかせてひとを叱りつけているような人間に、たいせつな外交問題に口を出すような資格はないから。
- ② ふだんの人間関係で冷静な対話によって物事を解決する習慣がなければ、複雑な国際問題を言葉で解決できるとはならないから。
- ③ 日常生活の対人関係で憎しみや怒りを抑えきれないような人間は、外交交渉でも必ず暴力でことを収めようとするに違いないから。
- ④ 戦争に反対する人間が職場で部下を叱りつけているようでは、周りにいる人たちは戦争反対を唱えることに躊躇ちゅうちゆしてしまうから。

問六 傍線部2「どれほど真実を語れといわれても頑として拒む」とあるが、その理由として最も適切なものを

次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(23)。

- ① 真実を語ってしまえば人びとの信頼はすぐに消えてしまうことを、今までの経験で学んできたから。
- ② 政治の世界では不正が善であると信じているので、たとえ自分の損となっても真実は語れないから。
- ③ 仮に国民の信頼を失うようなことがあったとしても、真実を語って自分が不利になるのは嫌だから。
- ④ どんなに追及されても自分が不正を認めなければ、最後は自分の有利になると分かっているから。

三 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。解答番号は(24)と(37)。

日本人がサクラを偏愛し始めたのはいつ頃だろうか。万葉集によると、花見と言えばウメだったようだ。そして明治初期まではさまざまな花による花見の宴が行われた。サクラだけが日本を代表する花とは言えなかったようである。地理学者である志賀重昂が執筆した『日本風景論』は興味深い。

この本は、一八九四年に刊行されたロングセラーだが、そこで論じられた日本の美しい風景として「気候や海流の多変多様な点」「水蒸気が多量なる点」「火山が多い点」「流水の浸蝕激烈なる点」の四つを挙げている。花の風景はあまり登場しないのだが、サクラの花に触れている箇所がある。

「其の早く散る所是れ惜しまるゝ所なるも、忽ちにして爛漫、忽ちにして乱落し、風に抗す能はず雨に耐え得ず、狼藉して春泥に委す所、寧ろ日本人の性情とせんや」

サクラの花が雨や風にあつさり散る姿をひ弱い、これは日本人の心に合わない、と嫌っているのだ。むしろ断崖絶壁に根付くマツに、日本の風景の良さを見つけるべきだとする。日本人は、厳しい環境にも耐えられるとマツに投影したのだ。思えば刊行されたのは日清戦争の前年で、国威高揚の狙いがあつたのだらう。

(ア)、それから半世紀経たないうちに「日本人はパツと咲いてパツと散る」ことを潔いとし、サクラこそが日本人の心を表すと叫ぶようになる。そしてパツと戦争に突入して、パツと命を散らせることを潔しとするようになった。

今ではマツ枯れが進み、断崖絶壁に育つマツもあまり見なくなつた。日本の風景も、日本人が好む樹木も、時代とともに移り変わっていく。

現代の日本では、大木にも偏愛傾向が見られる。大木の伐採にはモウレツな反発が起きる。大木の定義はあやふやだが、たとえば街路樹が大きくなりすぎて通行をソガイするから伐ろうとしても反対は起きる。

私が奈良県の吉野林業の取材に行った際、二三〇年生のスギを一〇本ほど伐採する現場に立ち会う機会を持ったことがある。いずれも直径は一メートルを優に超える。そんな伐採現場を目にした経験を友人に話すと、非情にいやな顔をされたことがある。そんな大木を伐るなんて、という反応が出たのだ。

しかし、木材を生産するために植えた木を、収穫作業として伐ったのだ。農業ならば育てたイネでもダイコンでも、収穫で刈り取ったり引き抜くのは当たり前だ。ところが**大木の伐採**となると、**イむべき行為**と**感じる人**がいる。

その理由を考えると、まず大きな樹木は風景になっていることがあるだろう。とくに大木の場合は、長い年月を自然界に揉まれて生き抜いた姿に感動するのだろうか。街の人にとっては、樹木は物質ではなく精神的癒やしの役割が強まったのではないか。

私も大木が嫌いなわけではない。わざわざ各地の大木を見て歩いている。そして幹回り一〇メートルを超えるような木に対峙すると、神々しささえ感じる。

しかし、大木だからと別格扱いばかりしてられない。

市街地にある街路樹を例に取ると、道幅を広げるために邪魔になるケースとか、伸びた枝が電線に触れたり、建物を圧迫しているケースも少なくない。大木が病害などで枯れかけている場合は、倒れて近隣の建物を壊したり、人命に関わることもあるだろう。最近では、大量に出る落葉を嫌う、春先に毛虫がつくなど周辺住民の伐採希望も出る。近年蔓延するナラ枯れ（カシノナガキイムシの媒介するナラ菌によってナラ類の樹木が枯れる現象）も、防除という点からは、枯れる前に太い木を除くのがよい。

また生態学的にも、大木ばかりで**コウケイ**樹が育っていないと森を持続的に維持できない。大木が樹冠を広げすぎると地表に光を通さず若木が育たないし、地表に草が生えず、降水によって土壌が流亡しかねない。生態系からすると、樹齢も樹種も多様な木々が生えている森林が豊かなのだ。<sup>3</sup> 大木は**適度に取り除く**のがよいのである。

（イ）森林整備というと、大木を残してその下に育つ低木や稚樹を伐採するケースが少なくない。それでは次世代の木がなくなるわけで、森の「**※**化」を進めてしまう。

古い説話集などには、巨樹を伐採する逸話が散見する。日本人は大木を畏怖しながら、同時に木材資源として伐採していたことがわかる。樹木に対する見方が現在とは違っていた。

しかし、伐採計画に納得を得るのはなかなか大変なようだ。反対意見が強硬だからだ。

私自身も経験している。其地方の大ケヤキはヤドリギがハンシヨクして、取り除いてもすぐに生えてくる。また幹の半分が落雷で焼けていた。そこで土壌改良を施したり、腐朽した幹や枝を除いて**充填剤**を詰めたり……と大変な労力を費やしていた。

私は、成り行きに任せたらよいのではないかと記事に書いた。自然のままにして枯れるなら寿命が来たと思えばよいし、ヤドリギは必ずしも母木を傷めるわけではないからそのまま残してもいいかもしれない、という意味である。だが、猛反発を食らったのである。この神木を守ろうとしているのに何を言うか、と激しくネットで攻撃された。何をもち「**「神木**」というのかもわからないが、もはや理性的な議論にならない。大木というだけで、**血相**変える人がこんなにも多くいるのか、と思いついた次第である。

日本人の樹木とのつきあい方は変遷している。現代的なつきあい方とは何だろうか。

（田中淳夫「虚構の森」より）

問一 傍線部 a ～ e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は (24) ～

(28)。

- a モウレツ (24) ① 商品をチンレツする。 ② 試合はレツセイになっている。  
③ 彼はレツカのごとく怒っている。 ④ 組織がブンレツしてしまった。
- b ソガイ (25) ① ソゼイはしっかり納めよ。 ② 意思のソツウをはかる。  
③ コクソを取り下げる。 ④ 侵入をソシする。
- c イむ (26) ① 今年は母の一周キである。 ② 不良品をハイキした。  
③ キシヨウ価値のある品物。 ④ ジョウキを逸した行動。
- d コウケイ (27) ① ケガはケイシヨウで済んだ。 ② 駅までのケイロを説明する。  
③ 我が家のカケイ図。 ④ 伝統をケイシヨウする。
- e ハンシヨク (28) ① ハンカ街を歩く。 ② 荷物のハンソウ。  
③ 試験のハンイが発表された。 ④ 生涯のハンリヨを得た。

問二 空欄ア・イにあてはまる語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は (29) ～

(30)。

- ア (29) ① なるほど ② そのうえ ③ ところが ④ さすがに
- イ (30) ① それなのに ② たとえば ③ とにかく ④ そのうえに

問三 空欄 ※ にあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (31)。

- ① 弱肉強食 ② 少子高齢 ③ 地球温暖 ④ 温室効果

問四 二重傍線部 I 「逸話」・II 「血相変える」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えな

さい。解答番号は (32) ・ (33)。

- I (32) ① 世間では忘れられた話 ② あまり知られていない面白い話  
③ 誰でも知っている面白い話 ④ 興味深い教訓を含んだ話
- II (33) ① いつもと違う真剣な様子になる ② 怒りから自暴自棄な態度になる  
③ 冷静さを失い感情的な顔付きになる ④ 不満を抑えきれない表情になる

問五 本文の記述から判断すると、日本人が桜を偏愛し始めたのはいつ頃と考えられるか。次の中から最も適

切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (34)。

- ① 万葉集の頃 ② 明治初期 ③ 日清戦争の前年頃 ④ ③から半世紀経たない頃

問六 傍線部1「国威高揚の狙い」について説明したものと最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(35)。

- ① サクラの花が雨や風に打たれて散る姿に日本人の潔さを投影して国民を元気づけた。
- ② サクラの花が雨風に抗している姿に世界に立ち向かう日本の立場を思い描いている。
- ③ 断崖絶壁に根付くマツの姿を国民に示して日本の風景の美しさを再認識させた。
- ④ 厳しい環境に耐え忍ぶマツに困難に立ち向かう日本の現状を投影して勇気づけた。

問七 傍線部2「大木の伐採となると、イむべき行為と感ずる」について、その背景を説明したものと最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(36)。

- ① 大木になるまで育った木を畑のイネやダイコンと同じように収穫することに違和感を感じる。
- ② 人びとにとって長い年月生長を見守ってきた大木は単なる物ではなく心を癒やす存在である。
- ③ 大きな樹木は街の風景の一部になっているので、伐ってしまうと自分の存在が不安になる。
- ④ 長い間生き抜いてきた木を、単に木材を生産するというために伐採するのは自分勝手である。

問八 傍線部3「大木は適度に取り除くのがよい」とあるが、その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(37)。

- ① 大木からはたくさん木材が得られるので、それによって多くの小木を残すことができるから。
- ② 昔から日本には大木を畏怖する習慣が強かったが、そうした迷信ははやく除いた方がいいから。
- ③ 大木ばかりになってしまうとその下の多様な木々が育たなくなつて森の持続性が失われるから。
- ④ 樹齢がかさんだ大木はヤドリギが生えたり枯れてしまつたりして倒木する危険も出てくるから。